

令和4年度 愛媛県がん診療連携協議会

第2回 がん看護専門部会 議事録

開催日時 令和5年1月24日(火) 14:00~15:00 WEB会議

開催場所 四国がんセンターから発信

司会進行 がん看護専門部会長 四国がんセンター看護部長 大西 玉美

開会の挨拶(大西部会長)

コロナの第8波で各施設本当に大変な日々をお過ごしと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。出席者においては、本日4名の方が欠席となっております。短い時間ではありますが、本日はよろしく願いいたします。

議事内容

1. 第2回専門部会報告会(11月19日)の報告

9月24日に開催された第1回がん看護専門部会の内容を報告する。研修内容の進捗状況は、次の議題で報告する。各施設の皆様、企画委員の皆様のご協力を得て、計画通りに進んでいる。

次に次年度のがん看護専門部会の開催日時とアンケートについての検討を報告したが、この件については本日の検討課題となっている。

2. がん看護実践能力向上研修の進捗状況報告及び課題(資料1)

・がん看護実践の現在の状況について、本体研修は終了し、その後フォローアップ研修を1回開催、2月27日の最終のフォローアップ研修で終了の予定としている。閉講式は2月27日の予定、修了証の発行は、本体研修の修了をもって発行する。

今回、17名と多くの参加があり、また、多くのファシリテーターの協力を得た。ファシリテーターの協力なくてはこの研修は終了できなかった。感謝する。

・がん看護実践能力向上研修会の自己評価について報告する。受講者の研修前と中間の自己評価を提示している。内容としては、この研修会の目標に対し理解できているか、実施できる自信があるか等とした。比較すると、かなりの項目において、理解できる、実施できる自信があるとの回答であった。2月27日の最終のフォローアップ研修後、最終評価を計画している。

この評価は7段階で評価している。低い項目は、世代別の中でもAYA世代への対応の評価であるが、AYA世代の患者への対応機会がないことが原因と考える。全体的には評価が上がっており、実りのある研修になっていたと考えている。

・研修を通して聞かれた、受講者からの意見等の共有をお願いする。今回は、講義はeラーニング、実習はすべての実習を自施設、一部をがんセンター、全てががんセンターと、3パターンとしていた。その中で、1日だけでもいいので、全員が直接会える機会を作ってほしいという希望があった。1日集合する日を設けたいと考えているが、それに対するご意見をお聞かせ願いたい。

・募集人数に関して、23名を応募予定としていた。過去は10名位であり、17名は初めてであった。今の状況を見ると17~18名が限界と考える。できるだけ、一人一人にきめ細やかな対応をしたいと考えている中で、最大人数を17名に変更したい。18名以上の応募があった時の選定について、これから検討し、相談させて頂きたい。

・今回、企画委員とファシリテーターを別々に選出していただいていた。しかし、次年度の企画を検

討する際、内容を直接見ているほうがいいと思う。次年度は、両方を兼ねる形で協力を願いたい。

1) 検討事項について

(1) 研修の中で、1日集合すること

松山赤十字病院：当院は松山市であり、集合することはいいことだと思う。研修生同士集合することは、横のつながりにもなる。交通事情を考慮し支障がないのであれば、集合することは賛成である。
市立宇和島病院：当院は遠方ではあるが、顔を見合わせて意見交換することは大切と思うので、賛成である。

四国がんセンターより：難しいという意見がないようであれば、1日集合を検討していく。

(2) 募集人数について

住友別子病院：今年度は4名参加したが、ファシリテーターから実習は自施設でなく、がんセンターという希望があると聞いている。四国がんセンターでの実習となると2名になる。募集人数は、18名位でいいと思う。

済生会西条病院：実習は、他施設でしたい、四国がんセンターでしたいという意見があった。それを含め検討できたらいいと思う。18名というのは、ファシリテーターの負担を考慮すると、人数的にもいいかと思う。

市立八幡浜病院：今まで10名程度だったのが、WEBの形もあるのか、数が増えている中で、18名でいいと思う。

四国がんセンターより：当センターでの受入れ可能人数を含め検討したいが、18名とさせて頂く

(3) 企画委員とファシリテーターの選出について

松山市民病院：がん化学療法看護認定看護師がファシリテーターを担当しているが、その関わりを通して、同じ病院の中でどんな話をしているか共有できている。継続でいいと思う。

四国がんセンターより：説明不足があったが、企画委員でない方が、ファシリテーターとなってる場合もある。また、同じ施設で2名以上のファシリテーターをしてくれている施設もある。企画委員会には、ファシリテーターとの意見をまとめたものをお願いしたい。

2) その他

住友別子病院：アンケートの結果から、がんセンターでの実習と自施設実習での何か差があったのか知りたい。

四国がんセンターより：細かい分析はしていないが、実習を通し感じたことは、実習をどの施設でしたかは関係なく、皆さん同じような意見だった。実習場所の違いはないと思う。ファシリテーターの方の頑張りによって支えられていると思う。

3. がん看護専門部会アンケートについて（資料2）

第1回目の会議にて、PDCA部会のアンケートに取り組むこととなった。アンケートの内容を完成、発信できる。アンケートの内容をどうするか、検討をお願いしたい。

(1) 目的について

目的（案）として、①活動評価を得る、②活動内容（主は研修）を発展させるための情報を得る、③認知度を高めるについて、意見をお願いしたい。

済生会松山病院：アンケートは、活動の評価、認知度を高める、ために実施するのでいいと思う。

四国がんセンターより：(案)という形で、アンケートの目的は①活動評価を得る、③認知度を高めるとする。

(2) 対象について

第1回のPDCA部会アンケートは、幹事と一般の2つにわけて実施していた。がん専門部会の内容から、基本的にわけなくていいのではないかと考える。部会員であるかは質問にあるため、そこから抽出できる。わけたほうがいいのか、意見を願います。

四国中央病院：分析時に分ける形にできるのであれば、特にわかる必要はないと思う。

四国がんセンターより：その他、意見がないようであれば、一緒の形とする。

(3) 内容について

アンケートの内容について、質問4までは所属やそれぞれの役割についてとしている。質問5以降は活動内容、研修内容についてとした。意見を願いたい。

愛媛大学医学部附属病院：アンケートに答えてみると、答えやすかったのでこれでいいと思う。次へ活用できるような内容になっている。

四国がんセンターより：この内容を(案)という形とし、1月31日まで意見を頂き、最終的にはメール決裁、承認を得たい。

(4) 日程

アンケートは、承認を得たうえで、準備する。回答期間は1ヶ月とし、3月集計、結果を共有したい。5月定例会で、意見交換を願います。

4. 次年度の定例会の日程について

第4火曜日 14:00~15:00とし、第1回は5月23日(火)、第2回は2024年1月23日(火)とする。

5. その他

四国がんセンターより：

①がん看護の研修に関し、中四国の大学教員と愛媛県の取り組みについて意見交換することがあった。そこで、「すごくうらやましい」と言っていただいた。がん看護の研修を継続的に開催できるのも、がん専門部会を通して、企画委員やファシリテーターの協力や、選出していただけるがん専門部会の病院の今協力のおかげと感謝している。

②次年度の研修について、企画委員会にて相談させて頂く予定である。協力をお願いします。

閉会の挨拶(大西部会長)

これで、今回のがん看護専門部会は終了させていただきます。検討した内容等は、メールで発信させていただきます。また、ご意見等をお願い致します。